

IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況 (2024年3月度)

- 参加手続きが完了しているISP (インターネット・サービス・プロバイダ) は**83社**。
当該ISPの約**1.12億IPアドレス**に対して調査を実施。
- **NOTICE**による注意喚起は、**5,402件**の対象を検知しISPへ通知。
- **NICTER**による注意喚起は、1日平均**1,111件**の対象を検知しISPへ通知。

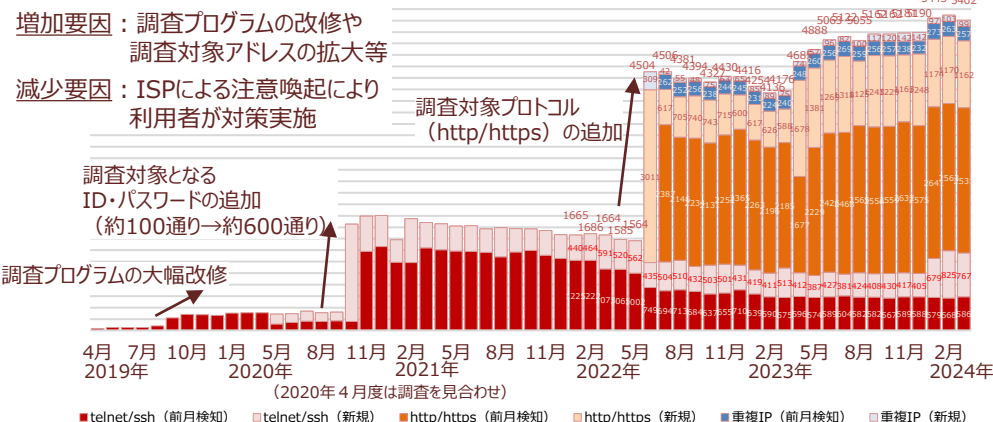
NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの*

5,402件 (2月度:5,492件)

(参考) 2019年度からの累積件数 : 144,595件
ID・パスワードが入力可能だったもの : 28.3万件

*)特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)



NICTER注意喚起※の取組結果

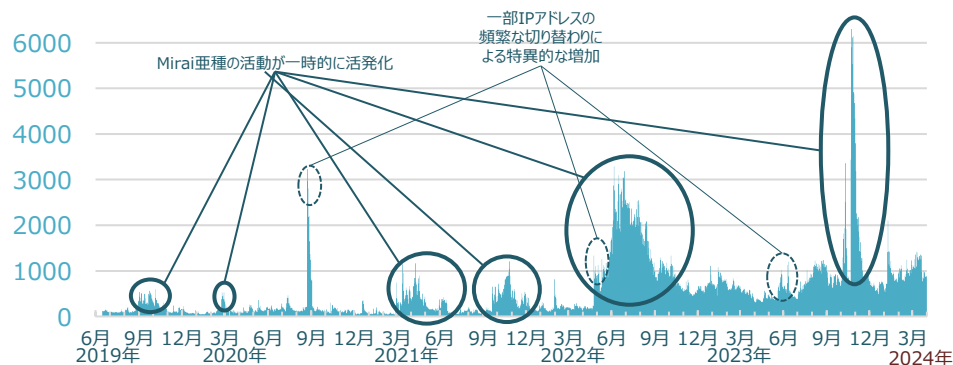
※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

注意喚起対象としてISPへ通知したもの**

1日平均1,111件 (2月度:964件)

(参考) 期間全体での値 : 1日平均555件
最小 : 40件(2021/2/10) / 最大 : 6,300件(2023/10/23)

***)NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)



✓ NICTER注意喚起で観測した2023年10月中旬頃の増加は、Mirai (亜種含む) の活動活発化を受けたものと考えます。また、その後も検体の変化による脅威が続いていると考えます。